

トンボの里づくりフォーラム

〔日 時〕 2019年 **2月16日** (土) 13:00~15:35 (12:30開場)

〔場 所〕 **吉沢公民館** (神奈川県平塚市上吉沢395)

〔参加費〕 **無料**

〔定 員〕 **100名** (定員を超える場合は、入場を制限させていただきます。)

〔プログラム〕

13:00 **開会あいさつ**

13:05 **地元団体の活動紹介**

「吉沢八景におけるトンボの里づくり」

秋山 貢 氏 (湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会 会長)

「トンボの棲むまちづくり運動」

臼井勝之 氏 (NPO法人 暮らし・つながる森里川海 理事長)

13:30 **基調講演**

テーマⅠ「地域文化とトンボの生態」

伊藤 元 氏 (株式会社 地域環境計画)

テーマⅡ「観光におけるトンボの里づくりの意義と実現に向けて」

小島周作 氏 (東京農業大学大学院 農学研究科造園学専攻 博士後期課程1年)

14:20 **パネルディスカッション** テーマ「トンボの里づくり」

【コーディネーター】

栗田和弥 氏 (東京農業大学 助教 / 地域再生研究部会 副部会長)

【パネラー (順不同)】

伊藤 元 氏 (株式会社 地域環境計画)

臼井勝之 氏 (NPO法人 暮らし・つながる森里川海)

小島周作 氏 (東京農業大学大学院 農学研究科造園学専攻 博士後期課程1年)

町田怜子 氏 (東京農業大学 准教授 / 地域再生研究部会)

15:10 **クロストーク (質疑応答)**

15:30 **閉会あいさつ**

主 催 : 東京農業大学 総合研究所研究会 地域再生研究部会※

連絡幹事 入江 彰昭 地域創成科学科地域デザイン学研究室

TEL. 03-5477-2677 E-mail: teruaki@nodai.ac.jp



オオシオカラトンボ



アキアカネ



※地域再生研究部会とは

過疎化・高齢化、農林業の衰退などにより活力が失われた地域が急増し社会問題となっていますが、大学・企業・行政などの「多様な主体」参画や、都市・農村交流などの地域連携、新しい経済システムの導入などによる地域再生の方法について研究しています。

現在は、平塚市西部のゆるぎ地区の里山再生をテーマとしながら、地元協議会 (湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会)、行政 (平塚市まちづくり政策部)、企業 (日本土地建物株)、大学 (東京農大) を中心に活動しています。

吉沢公民館 案内図



■バスでお越しの方

平塚駅北口から神奈川中央交通バスに乗車し下記停留所で下車

平塚駅北口バスのりば	①番	【平37】 【平38】	≫	寺前橋
	⑪番	神奈川大学校舎前 行		
		【平76】 秦野駅南口 行		
	②番	【平30】 湘南めくみが丘 行	≫	中沢橋
		【平31】 【平34】 松岩寺 行	≫	
		【平32】 二宮駅南口（中沢橋・国府新宿経由） 行	≫	

- ・平塚駅からの所要時間は20分から30分程度です。
- ・最新の情報を神奈川中央交通HP等でご確認下さい。
- ・中沢橋バス停から公民館までは徒歩10分程度です。

ゆるぎの里"きさわ"について

平塚市西部にある吉沢（きさわ）地区は、関東平野にはじまりを告げる大磯丘陵の北東部に位置し、地区の南側に『ゆるぎ地区』と呼ばれる里山を抱き、市街地に近接しながらも美しい里地里山の景色が広がっています。また、富士山や大山などの山々の風景、相模湾や江ノ島の海の風景、段々畑が織り成す農の風景、歴史ある寺社仏閣や季節を彩る花々など、四季折々に多様な風景を楽しむことができます。

この貴重な環境を守っていくためには多くの課題がありますが、ここ吉沢では地域住民の組織「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」が中心となって、東京農業大学や東海大学、平塚市、ゆるぎ地区に土地を所有する日本土地建物(株)とも連携し、課題解決に向けた様々な活動が行われています。